

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 1月

平成30年1月1日の推計人口 1,351,249人  
世帯数 561,436世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

#### 1 推計人口

平成30年1月1日現在の推計人口は、1,351,249人で、前月(1,352,326)に比べ1,077人の減少となった。

市部では大村市(17)の1市で増加し、長崎市(418)、佐世保市(262)、諫早市(73)、島原市(54)、南島原市(50)、西海市(46)、五島市(39)、壱岐市(36)、松浦市(24)、対馬市(12)、雲仙市(4)、平戸市(1)の12市で減少した。

郡部において波佐見町(10)の1町で増加し、時津町(28)、新上五島町(27)、佐々町(9)、東彼杵町(7)、長与町(5)、小値賀町(5)、川棚町(4)の7町で減少した。

自然動態は、出生数872人、死亡数1,608人で736人の減少、社会動態は、転入者数2,462人(県内転入を含む)、転出者数2,803人(県内転出を含む)で、341人減少となった。

#### 2 世帯数

平成30年1月1日現在の世帯数は、561,436世帯で前月(561,981)に比べ545世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

### 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…11月

1人あたり現金給与総額 268,922円  
対前月比 6.9%増加  
対前年同月比 0.4%増加

#### 1 賃金

11月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額268,922円で、前月に比べ6.9%増加し、前年同月に比べ0.4%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は249,419円で、前月に比べ0.3%減少し、前年同月と同水準であった。

特別給与額は19,503円で、前年同月に比べ、907円増加した。

#### 2 労働時間

11月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は158.5時間で、前月に比べ0.6%減少し、前年同月と同水準であった。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は145.4時間で前月に比べ0.8%減少し、前年同月と比べ0.2%減少した。

所定外労働時間数は13.1時間で、前月に比べ1.6%増加し、前年同月に比べ1.7%増加した。

#### 3 雇用

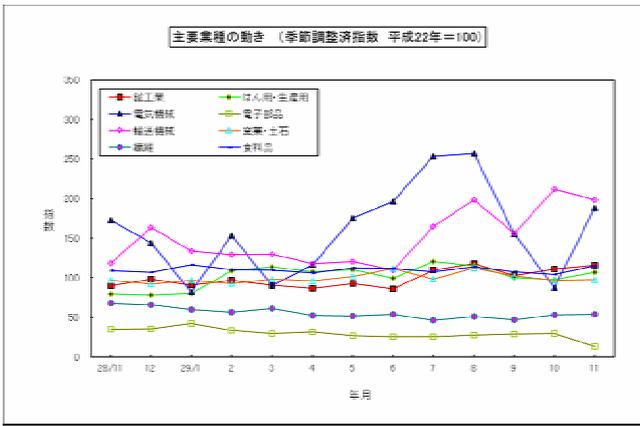
11月の常用労働者数は209,636人で、前月に比べ0.2%減少し、前年同月に比べ1.5%減少した。

### 【鉱工業生産指数】……………11月

平成29年11月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	115.8	4.2	110.3	26.5
九州	p109.7	p0.7	p112.9	p0.4
全国	103.5	0.5	105.4	3.6



平成29年11月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が115.8で前月比は4.2%の増、原指数は110.3で、対前年同月比は26.5%の増となった。

業種別にみると、電気機械工業、食料品工業、はん用・生産用機械工業、繊維工業、窯業・土石製品工業など9業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業など4業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	116.0	19.3	交流発電機
食料品工業	10.5	6.1	水産練製品(すり身)
はん用・生産用機械工業	10.2	35.2	冷凍機応用製品
繊維工業	0.9	20.1	織物製外衣
窯業・土石製品工業	0.6	2.3	生コンクリート

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	55.9	61.5	シリコンウエハ
輸送機械工業	6.1	54.7	新造船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………	12月
総合指数(H27=100)	101.2
対前月比 (%)	0.1
対前年同月比 (%)	1.1

平成29年12月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、101.2である。

前月比同月は、0.1%の上昇で、主な上昇要因は「食料」の+0.6%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の0.8%、「教養娯楽」の0.4%である。

前年同月比は、平成29年9月は+0.8%と10月は+0.6%、11月は、+0.4%と推移した後、1.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は101.2であり、前月比と同水準、前年同月比は+1.3%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料 0.6%

下落した費目

住居 0.1%  
 家具・家事用品 0.1%  
 被服及び履物 0.8%  
 保健医療 0.2%  
 教養娯楽 0.4%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……12月

消費支出(一世帯当たり) 336,693円  
 前月比 26,400円増(8.5%増)

平成29年12月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は336,693円で、前月比8.5%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は42.4%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	102,044	31.5
住居	13,622	11.3
光熱・水道	23,734	22.6
交通・通信	37,378	13.5
教養娯楽	28,167	3.1

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。